



NHK・ETV「ハートネットTV」の取材を受けて
～訪問介護報酬引き下げに抗議する～

えんを始め、有識者の方々や各訪問介護事業所が“断固反対!”を訴えていた訪問介護の基本報酬引き下げが今年の4月からスタートしてしまいました。

今回NHK・ETVのハートネットTVでその報酬引き下げについて取り上げる事になり、訪問介護事業所であるケアサポートえんが取材を受けることになりました。30分番組の中の一部で“ヘルパーの1日”という事で管理者から密着取材の話しを聞いた時は少し戸惑いながらも、気心知れた担当の利用者さんの元で仕事をしているところを撮られるだけなら協力してもいいかな…と引き受けることになりました。

簡単に考えていましたが、実際には取材班(3名)との顔合わせや事前の聞き取りがあったり、撮影当日はバイクで現場に向かう所やご近所の方とお話ししているところも撮影されました。一番困ったのは利用者さんのお宅を退室した後に玄関前でディレクターからインタビューをされたことでした。ポキャブラリーが豊富な方ではないので「私のしゃべりがTVに流れたら恥ずかしい」などとドキドキしていました。放送当日の直前まで観るのを決めかねていましたが、「結局観るんでしょ?」と夫に促され一緒に観て一安心。後日、放送を観た職場の仲間や家族、親戚から「自然でとても良かったよ」と感想を頂き嬉しく思いました。

さらに後日、落ち着いたところで録画してあった番組をもう一度見返しました。30分間の中で報酬引き下げについてギュッと詰めて取り上げていました。一人一人の日常を在宅で支えるヘルパーの仕事が危機に直面しています。私たちが心身ともに



利用者さんの台所で(番組の一コマより)

健康で、安心して働く事が出来なければ、次世代に繋ぐことも出来なくなってしまうし、利用者さんたちへ良いサービスを届けることも出来なくなってしまう。本当にこのままでいいのですか?と強く思いました。

(ケアサポートえん/丸山亜紀)